

泉区地域子育て支援拠点事業
令和5年度重点目標評価結果・令和6年度重点目標

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人 ちょこっといずみ 泉区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 泉区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和5年度重点目標の評価

令和5年度 重点目標①	妊娠期からの支援について、父親への支援も意識しながら取り組みます。
取組内容	<p>①区の専門職と共に、拠点の強みを活かした「親になる前の支援」を組み立て、効果を検証します。</p> <p>②夫婦のコミュニケーションをより深め、産後の生活に協力して取り組めるような事業を開催します。</p> <p>③子どもがいる生活のイメージを持ち、経験者との交流を通して不安を軽減できるよう、拠点を利用する養育者の協力を呼びかけ、妊娠期家庭と養育者をつなぎます。</p> <p>④妊娠期の家庭向け事業を、地域の関係機関と協力して開催します。</p>
取組の成果	<p>①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の専門職と、「親になる前の支援」の目的や拠点の役割について十分に話し合い、共通認識を持った。 ・「体験・コミュニケーション促進」を拠点の事業の目的として考え、ゲーム形式で産後の生活をイメージしながらコミュニケーションを取る講座を2回トライアル開催した。参加者アンケートや聞き取りから、事業目的に叶うことを確認した。 ・講座の中で参加者に向けて専門職やスタッフから声かけをし、産前に話し合うことの大切さや、産後に利用できる支援の制度を紹介した。 <p>③妊娠期の家庭向けの講座の際には、拠点利用者に呼びかけ、実際に赤ちゃんを抱っこさせてもらったり、交流する時間を設けた。妊娠期の方の不安が軽減されていることがアンケートから読み取れた。</p> <p>④「親と子のつどいの広場」3か所に、沐浴体験・妊婦体験の共催を働きかけた。講座の目的を理解してもらう事で、2か所での開催につながった。</p>
取組の課題	<p>①②妊娠期家庭に向けた周知が難しく、参加者が集まりにくかった。次年度に向けて、区の両親教室でも周知を広げていくが、拠点としても色々な情報発信のチャンネルを検討していく。</p> <p>③妊娠期の家庭向け講座の際に、実際の赤ちゃんに触れたり養育者との交流をするために、赤ちゃん連れの家庭がその日に複数来館してもらえるような仕掛けを考える。</p> <p>④「親と子のつどいの広場」2か所で開催を予定し、1か所で「妊婦体験」を開催した。2か所での開催には至らなかったが、妊娠期支援の重要性を理解してもらうことが出来た。今後も、開催方法や周知の仕方を検討していく。</p>

令和5年度 重点目標②	横浜子育てサポートシステムについて、事業の本来の意義を丁寧に伝えながら、市の新しい支援プロジェクトが円滑に進むよう取り組みます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①新プロジェクトを円滑に進めるために18区拠点で協力して、利用しやすい仕組みを準備をします。 ②既存の会員に向けて、新プロジェクトを分かりやすく伝えられるよう工夫します。 ③子育てサポートシステムにとって最も重要な提供会員の確保に向けて、区と共に働きかけをします。 ④入会説明会に参加しやすくするよう、オンラインを活用して取り組みます。
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ①料金改定やクーポンの導入、新システムへの移行などあらゆる点において、先んじて検討する区の一つとなり18区でのスタートに貢献した。 ②会員に向けたニュースレター(子サポ通信)では、図を多用して新しい仕組みについてわかりやすく伝えた。また、新システムへの登録にあたって、特に提供会員を意識して「説明会」を複数開催するなど、対面で丁寧に伝えた。 ③区の広報で、子サポの仕組みと預かり手である提供会員募集について広く区民に周知した。提供会員となるための「予定者研修」を通常より多く開催し、増員することができた。 ④オンラインでの開催準備はしたが、参加する方のニーズと合わず開催には至らなかった。対面で個別に入会説明会を頻繁に行い入会のニーズに応えた。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ①新プロジェクトや新しいシステムへの移行が円滑に進むよう、引き続き横浜市と18区拠点で協力しながら周知や仕組みについて模索していく必要がある。 ②新システムへの移行がスムーズに進まず、周知のためのツールを工夫した。今後も拠点スタッフ全体で、周知説明に努めていく。 ③提供会員は増員できたが、利用のニーズは増えているため、引き続き預かり手を増やす取り組みを行っていく。 ④個別に訪問して説明して欲しいというニーズが増えてきたため、オンラインで解決できるよう引き続き検討していく。

次年度重点目標

令和6年度 重点目標①	妊娠期の家庭が拠点や地域の支援の場・人と接点を持ち、産後も継続して繋がれるような仕掛けづくりを関係機関と共に取り組めます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の家庭に向けて、妊娠中から産後の早い時期に地域の支援の場の利用を働きかけていきます。(マタニティ家庭向け体験講座の実施、マタニティ家庭向け情報発信の充実など) ・保育園や親と子のつどいの広場などの関係機関に、妊娠期の家庭も視野に入れた事業を働きかけます。
令和6年度 重点目標②	地域の子育て支援の場について、子育て家庭に向けた周知を強化し、効果的な発信を関係機関や支援の担い手と共に検討します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区が取り組む「お出かけ応援シールラリー」の周知や実施に協力します。 ・今年度開始の「横浜市地域子育て支援拠点システム」や横浜市の新たな発信の仕組み、併せて拠点の情報発信機能を活かして、子育て家庭に地域の支援を伝えていく。 ・区内の様々な子育て支援ネットワークの活動の中で、子育て家庭に届きやすい方法を共に考えていきます。